

危機管理・健康福祉常任委員会 議事次第

令和 8 年 8 月 19 日（水）

午後 1 時 30 分 ～

於：第 5 委員会室

1 開 会

2 所管事項の調査

「災害時の避難所における福祉的支援について」

参考人：公益社団法人京都府介護支援専門員会

会長 村上 晶之 氏

3 そ の 他

4 閉 会

危機管理・健康福祉常任委員会 出席要求理事者名簿
(8月19日)

【危機管理部】	
危機管理部理事 (災害対策課長事務取扱)	山 本 健 一

【健康福祉部】	
健康福祉部副部長 (地域包括担当)	松 尾 治 樹
健康福祉総務課長	村 上 哲 司
地域福祉推進課長	宮 村 匡 彦

(計 4 名)

「災害時の避難所における福祉的支援について」 ～災害派遣福祉チーム「DWAT」の活動～



過去の災害で起きたこと

一次被害

災害による直接死の発生

- ・ 特に高齢者・障害者に被害（避難行動の問題）

災害から助かった命

近年、災害関連死者数が直接死者数を上回っている

二次被害

災害直後からはじまる避難生活の中で生じる
体調悪化や災害関連死の発生（避難生活の問題）

- ・ 特に要配慮者（高齢者や障害者、子ども等）に被害大
- ・ 重度化防止、課題の早期発見と対応が進まないことで状態が悪化することになる

災害から助かったのに守られない命



二次被害を防止することが重要！

過去の災害における災害関連死者数

熊本地震（平成28年）

（１）発生時刻 平成２８年４月１４日２１時２０分頃～

（２）震源地 熊本県熊本地方（震源の深さ深い）

人的被害（人）						住家被害					非住家被害
死者	うち災害 関連死	行方 不明者	負傷者		小計	全壊	半壊	一部破損	その他	小計	
			重症	軽傷							
274	219※	0	1,186	1,550	3,010	8,642	34,389	155,230	467	198,728	13,137

※6月19日から6月25日に発生した豪雨による被害のうち
熊本地震との関連が認められた死者数を含むと225名

（令和6年11月13日時点）

能登半島地震（令和6年）

（１）発生時刻 令和6年1月1日16時10分頃

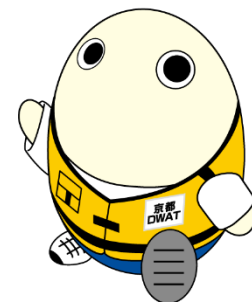
（２）震源地 石川県能登地方（震源の深さごく浅い）

人的被害（人）						住家被害					非住家被害
死者	うち災害 関連死	行方 不明者	負傷者		小計	全壊	半壊	一部破損	その 他	小計	
			重症	軽傷							
720	492	2	427	980	2,129	6,536	23,707	135,545	25	165,813	41,295

（令和8年3月31日時点）

災害派遣福祉チーム

Disaster Welfare Assistance Team



災害時において、避難者の生活機能の低下や介護度の重度化などの二次被害を防ぐため、避難所等（※1）で災害時要配慮者に対する福祉的な目線で寄り添った支援を行う福祉専門職（※2）で構成するチーム

（※1）一般避難所、福祉避難所その他、在宅や車中泊避難者への支援も含む

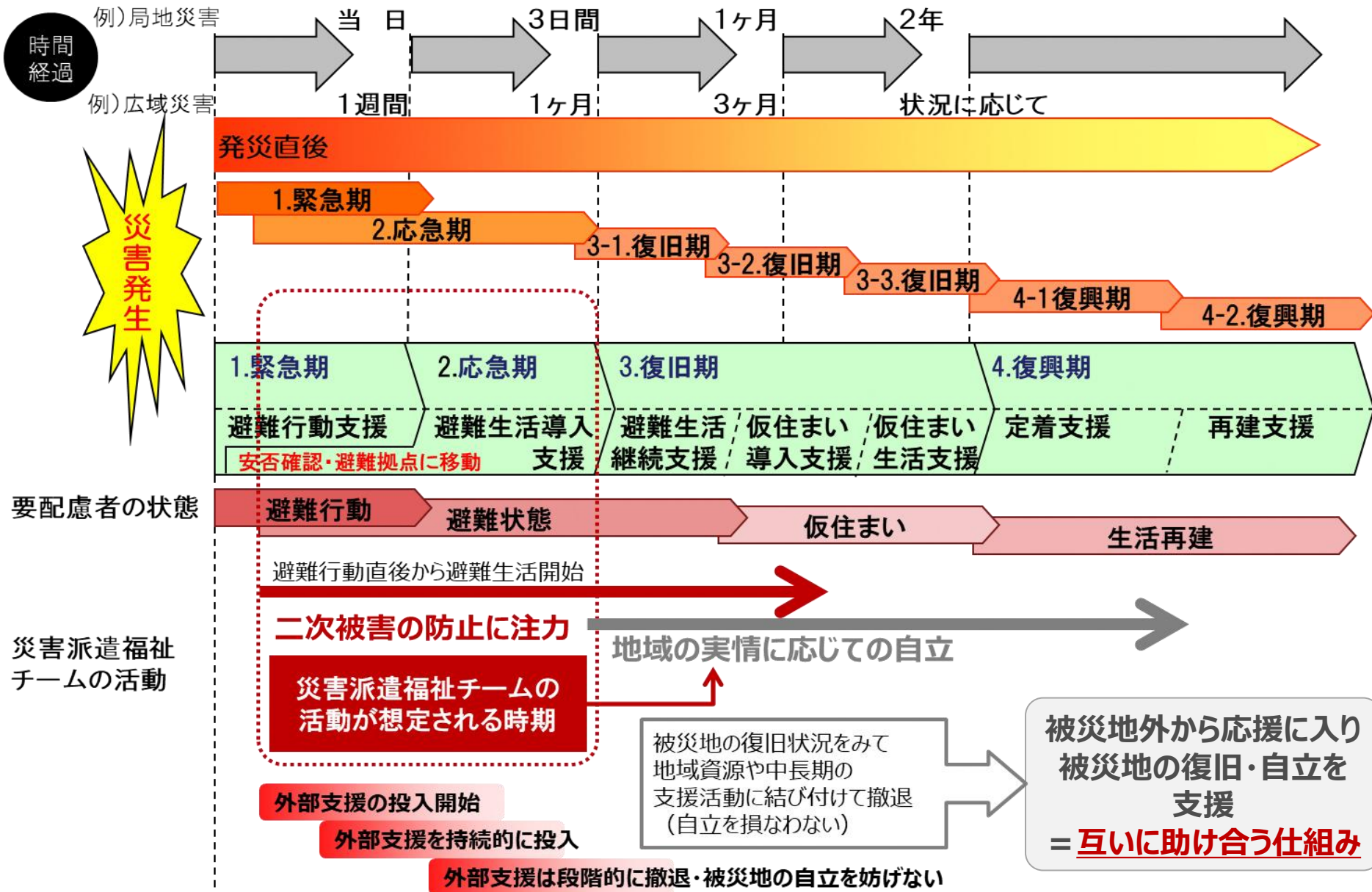
（※2）福祉専門職：介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士など

災害福祉支援体制について

体制の設置主体	京都府、京都府社会福祉協議会
体制名称	京都府災害時要配慮者避難支援センター
設置要綱等	京都府災害時要配慮者避難支援センター運営規程
組織役員	センター長：京都府健康福祉部長
事務局	京都府・京都府社会福祉協議会
平時における活動	○運営委員会、幹事会の開催 ○研修・訓練の実施 ○原子力災害時の医療・社会福祉施設入所者の避難及び避難受入に係るガイドライン等の作成 ○施設入所者、在宅要配慮者の現状把握
災害発生時における活動	○被災状況等の確認、把握 ○関係団体・機関との連絡調整 ○医療・社会福祉施設入所者の避難に係る連絡調整 ○避難所へのDWAT派遣

構成団体・員			
区 分	団 体 等 名		
医療関係	一般社団法人京都府医師会	一般社団法人京都私立病院協会	
	一般社団法人京都精神科病院協会	一般社団法人京都府病院協会	
	公益社団法人京都府看護協会	京都透析医会	
福祉関係 (1 7 団 体)	社会福祉法人京都府社会福祉協議会		
	社会福祉法人京都市社会福祉協議会		
	一般社団法人京都府老人福祉施設協議会		
	一般社団法人京都市老人福祉施設協議会		
	一般社団法人京都府介護老人保健施設協会		
	京都府障害厚生施設協議会		
	一般社団法人京都知的障害者福祉施設協議会		
	京都府ホームヘルパー連絡協議会		
	公益社団法人京都府介護支援専門員会		
	一般社団法人京都社会福祉士会		
	一般社団法人京都府介護福祉士会		
	京都府児童福祉施設連絡協議会		
	京都児童養護施設長会		
	京都市身体障害者福祉施設長協議会		
	京都府社会福祉法人経営者協議会		
	一般社団法人京都府保育協会（R7～）		
	公益社団法人京都市保育園連盟（R7～）		
行政関係	京都府	京都市	福知山市
	舞鶴市	綾部市	宮津市
	南丹市	京丹波町	伊根市

被災地の復旧・自立を応援する期間限定の仕組み



京都DWAT (12地域)



- ① 北・左京
- ② 上京・中京・下京・南
- ③ 東山・山科・醍醐
- ④ 右京・西京・洛西
- ⑤ 伏見・深草

京都府災害時要配慮者
避難支援センター

派遣要請

京都府

調整・依頼

派遣協議

派遣実績・災害時の活動内容

【派遣実績】

	H28年熊本地震	H30年西日本豪雨	R6年能登半島地震
期 間	H28.5.13～5.31	H30.7.20～8.13	R6.1.8～3.29
派 遣 人 数	15名（5名×3班）	24名（4名×6班）	41名（2名体制）
派 遣 先	益城町情報交流センター	倉敷市立岡田小学校	七尾市市内（主に7か所）

【活動内容】

- ・ 避難所**環境の整備**（段差をなくす、通路の確保、二足制の導入など）
- ・ 配慮を要する方への必要な支援の**聞き取り**
- ・ 避難されている方々からの悩みや困りごとの**相談**
- ・ 市町村、医療救護班、保健活動班などと**連携した要配慮者の支援**



平時の京都DWAT活動

「平時に出来ないことは災害時にもできない」

- 養成研修の実施 → 人材育成、スキルや知識の向上
- 防災訓練への参加 → 災害時を想定した実働訓練、地域の防災力の向上
- 防災授業、イベントへの参加 → DWATの周知、防災意識の醸成
- 福祉施設等での講演 → 福祉避難所周知、地域との連携、啓発



DWAT養成研修



総合防災訓練への参加



福祉施設での講演



防災イベントへの参加



市町村防災訓練への参加



高校での防災授業

応急期に避難所で活動する他職種チームの例

医療	DMAT(Disaster Medical Assistance Team : 災害派遣医療チーム) JMAT(Japan Medical Association Team : 日本医師会災害医療チーム) NHO(国立病院機構)救護班 全国知事会救護班 AMAT(All Japan Hospital Medical Assistance Team : 全日本病院医療支援班) 日赤救護班 JCHO(地域医療機能推進機構)救護班 国立大学付属病院救護班 済生会救護班 TMAT (: 徳洲会チーム) JRAT(Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team : 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)	
精神	DPAT (精神保健活動の支援を行う専門チーム) 心のケアチーム 日赤こころのケアチーム	
保健・看護	DHEAT (Disaster Health Emergency A T : 健康危機管理・公衆衛生学的支援を行うチーム) 医師、保健師、薬剤師、栄養士等自治体職員で構成 保健師チーム、公衆衛生チーム、災害支援ナース 薬剤師チーム	
福祉	各種別協の協議会・職能団体によるチーム DWAT (Disaster Welfare Assistance Team : 災害派遣福祉チーム)	